News Release

2017 年 2 月 10 日

バイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの建設について

～ユーグレナと千代田化工建設との工事等請負契約が締結され、実証プラント完成期日が確定
2020 年迄にバイオジェット・ディーゼル燃料の実用化を目指す「国産バイオ燃料計画」が着実に進捗～

株式会社ユーグレナ
千代田化工建設株式会社

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、社長：出雲充、以下「ユーグレナ社」）と千代田化工建設株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役副社長：中垣啓一、以下「千代田化工建設」）は、横浜市の京浜臨海部における日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの建設に向けた工事等請負契約を本日付で締結しましたので、お知らせいたします。本契約締結により、実証プラントの建設スケジュールが 2017 年 6 月着工、2018 年 10 月完成で確定し、2019 年前半に予定しているバイオジェット・ディーゼル燃料の生産開始に向けて大きく前進しました。

ユーグレナ社は、2015 年 12 月 1 日付で、横浜市、千代田化工建設、伊藤忠エネクス、いすゞ自動車、全日本空輸の協力のもと、2020 年に向けた国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化計画（以下、「国産バイオ燃料計画」）の始動を発表し、バイオジェット・ディーゼル燃料実証プラントの建設に向けた基本設計、関係各所への届出・申請、建設予定地の整備等を進めてまいりました。このたび締結した工事等請負契約では、実証プラント建設の完成期日を 2018 年 10 月 31 日で予め確定しており、千代田化工建設は、完成期日を遵守するよう実証プラントの設計・調達・建設という一連の業務を遂行していきます。契約金額も固定額で確定しており、ユーグレナ社は同契約金額を含む投資総額の全てをすでに公募増資や手元資金で確保しております。また、本工事等請負契約の締結と同日付で旭硝子株式会社との間で事業用定期借地権設定契約を締結致しました。

このため、今回の工事等請負契約締結をもって、2020 年迄の国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化に向けた製造面の体制整備は完了いたしました。

■バイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの概要

	前回公表時の内容 （2015 年 12 月 1 日 (※1)）	今回公表時の内容 （2017 年 2 月 10 日）
建設予定地	神奈川県横浜市鶴見区末広町 1 丁目 1 （旭硝子株式会社 京浜工場内）	変更なし (※2)
敷地面積	約 9,000 ㎡	7,787.6 ㎡
着工予定時期	2017 年夏迄	2017 年 6 月 1 日
竣工予定時期	2018 年冬迄	2018 年 10 月 31 日 (※3)
稼働予定時期	2019 年前半迄	2019 年前半
生産品目	バイオケロシン、バイオディーゼル、 バイオナフサ	変更なし
投資総額	未定	約 58 億円 (※4)

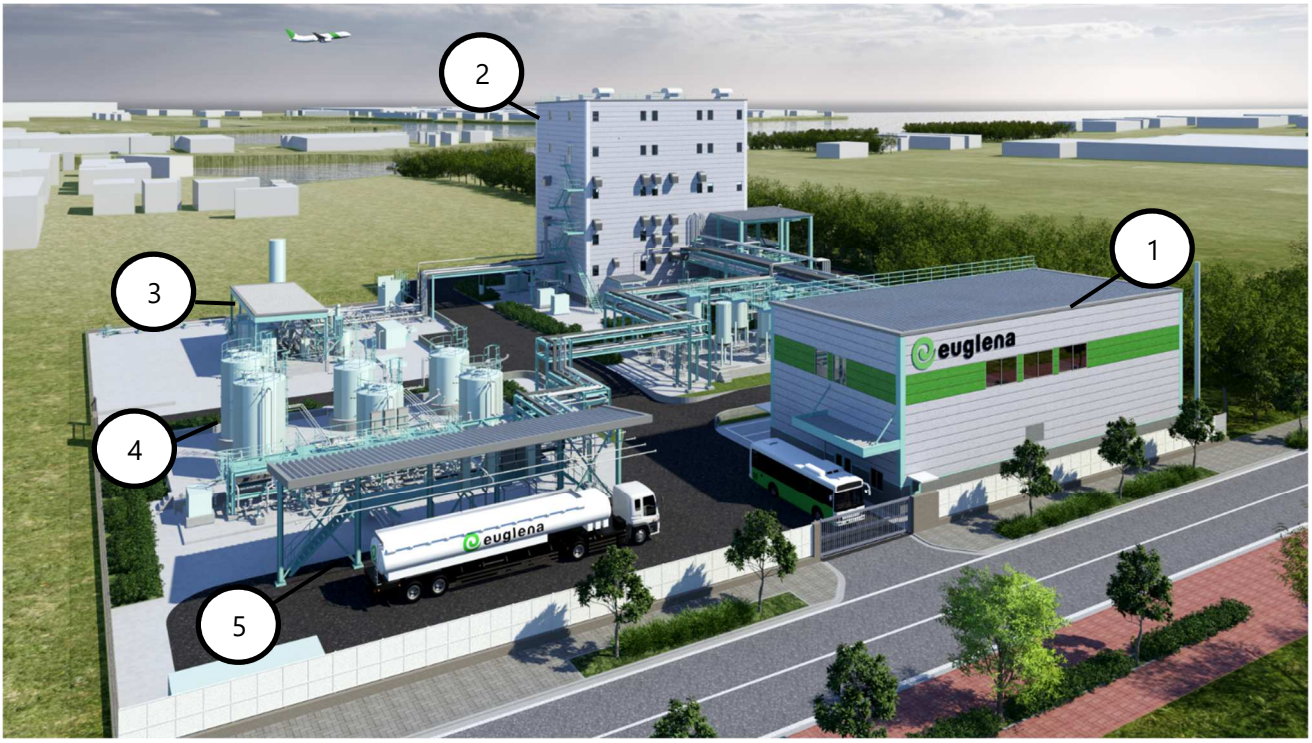
（※１）着工・竣工・稼働時期に関しては、2016 年 8 月 12 日付で発表した工期変更後の時期を記載。

（※２）旭硝子株式会社との間で、事業用定期借地権設定契約を 2017 年 2 月 10 日付で締結し、2017 年 6 月 1 日より賃借開始。

（※３）今次締結した工事等請負契約における、実証プラントの完成期日。

（※４）今次締結した工事等請負契約における契約金額のほか、実証プラントに関連する基本設計費用、土地整備用等の諸費用（一部は既に支払い済み）を含む金額。

■最新完成イメージ図（2017 年 2 月 10 日段階）



①　事務棟　②反応装置棟　③用役設備　④貯蔵タンク　⑤出荷場

■工事等請負契約締結までの歩みと今後のスケジュール

別添１を参照ください。

■その他の進捗状況

「国産バイオ燃料計画」は、製造面以外の取り組みについても着実に進捗しております。現在の進捗状況は以下の通りです。

- バイオ燃料の原料に関しては、2016 年 9 月 1 日付で三重県多気町に国内最大級の燃料用微細藻類培養プールを建設するプロジェクトを公表するとともに、伊藤忠エネクスとの間で原料調達に関する協議・調査を実施しております。
- 実証プラントの運用に関しては、運用に必要なプラント統括責任者がユーグレナ社に参画し、その他の実証プラントの運用人員の採用も順調に進んでおります。
- バイオジェット燃料の実用化に向けた環境整備に関しては、「2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けたバイオジェット燃料の導入までの道筋検討委員会」への参加や関係各所との協議を通じて、実証プラントで製造したバイオジェット燃料の品質評価、混合、貯蔵、輸送、空港で

の給油などの一連のロジスティクスについて検討を進めるとともに、全日本空輸との間で有償フライト実現に向けた調査・情報交換を実施しております。

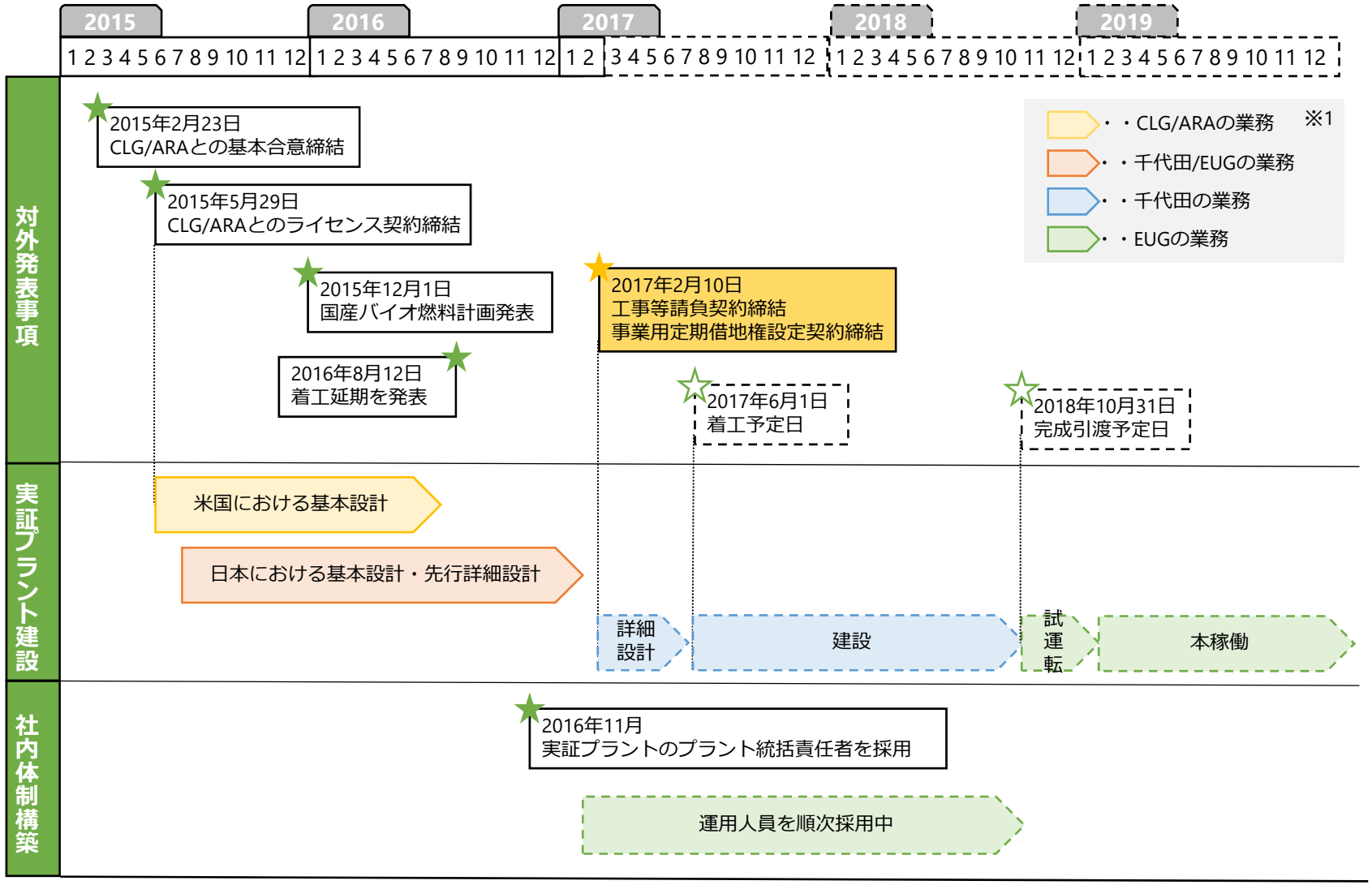
- バイオディーゼル燃料の実用化に向けた環境整備に関しても、いすゞ自動車との間で次世代バイオディーゼル燃料を用いた公道走行の実現に向けた検討に着手しております。
- 航空会社への供給の際にバイオジェット燃料が準拠する必要のある米国の ASTM 規格に関しては、実証プラントで採用するバイオ燃料製造技術「バイオ燃料アイソコンバージョンプロセス技術」のライセンス元である米国の Chevron Lummus Global & Applied Research Associates が ASTM 規格化を進めております。

ユーグレナ社は、様々なパートナーや関係各所からの協力のもと、2020 年迄のバイオジェット・ディーゼル燃料の実用化に向けて、引き続き「国産バイオ燃料計画」を推進してまいります。「国産バイオ燃料計画」の完了後は、商業プラント建設の検討・準備に着手いたします。日本におけるバイオジェット・ディーゼル燃料の普及、そして日本の温暖化ガス排出削減に貢献するべく、研究開発と事業推進に努めてまいります。

以上

国産バイオ燃料計画ーこれまでの歩みと今後のスケジュール

2020年迄の実用化に向けた製造面の体制整備は完了



（※1）CLG＝Chevron Lummus Global、ARA＝Applied Research Associates、千代田＝千代田化工建設株式会社、EUG＝株式会社ユーグレナ

Copyright (C) 2016 euglena Co., Ltd. All Rights Reserved.